

「当コミュニティ委員会は、新潟市地域活動補助金を受けて事業を実施しています。」

ながauraコミュニティだより



長浦コミ
公式LINE

長浦コミュニティ委員会（長浦コミセン） 〒950-3338 新潟市北区長場 1834-1

TEL 025-387-2061 FAX 025-386-7495 ※月曜・祝日は休館日です

☆連絡先の記載がないものは全て長浦コミセンへご連絡ください。

E-mail アドレス nagaura-comi@sea.plala.or.jp



10月号 No. 262
令和6年10月1日発行

長浦文化祭 作品大募集！

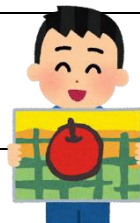


☆長浦を愛する方ならどなたでも大歓迎です。ぜひ日頃の成果をお持ちください！

1. 内容： 絵画、写真、書画、生花、工芸、手芸、陶芸など 一人合わせて3点まで
2. 搬入搬出： 展示物の搬入搬出は、出品者が責任を持って行ってください。

搬入 11/1(金)~11/6(水)
午前9:00~午後5:00

左記の期間内に長浦コミセンまでお持ちください。
搬入時に出品申込書（長浦コミセンにあります）を
記入していただきます。



搬出 文化祭終了後、または
11/12(火)午前9:00~
午後5:00

長浦コミセンでお返しします。
※この日に搬出できない場合は、下記まで連絡ください。

3. 問合せ：長浦コミュニティセンター ☎ 025-387-2061（月曜は休館日）



長浦文化祭

11月9日(土)・10日(日)

午前9:30 ~ 午後3:00

会場：長浦コミュニティセンター



＜展示予定作品＞

二葉保育園, 葛塚小学校, 光晴中学校の児童, 生徒の作品

各サークル, 教室の活動作品

書道, 絵画, 写真, 工芸, 手芸などの一般作品



9日(土)のイベント

9:30~12:00 すこやかカフェ

☆気軽に健康チェック&カフェ

10:30~10:50 ミニコンサート

☆光晴中学校吹奏楽部の皆さん

13:30~14:00 オカリナコンサート

☆サロン・ム〜ンの皆さん

14:00~15:30 フラワーアレンジメント教室

☆葛塚小学校児童の皆さん（事前申込み必要）



10日(日)のイベント

10:00~13:30 ながaura茶会

☆50席限定（1席300円）

13:30~14:00 フラダンス

☆Hui_o_hula_nani_e(ハイオワナニエ)の
皆さん

13:30~14:30 お点前体験会

☆5組限定（事前申込み必要）



文化祭のイベントへ参加しませんか？

ながうら茶会



親子お点前体験会



11月10日(日) 10:00~13:30

会場：大王荘 (和室 1,2)

1席300円 (お菓子付き) 限定50席

☆茶席券はコミセン窓口にて販売中



11月10日(日) 13:30~14:30

会場：大王荘 (和室 1,2)

参加費300円/1組 先着5組

☆申込みは長浦コミセンまで

文化祭の作品を一緒に作りませんか？ 会場/申込み：長浦コミュニティセンター

手芸教室

「干支の置き物」



来年の干支は『巳』！
初めての方でも大丈夫！
どうぞお気軽にご参加ください。

日時：10月16日(水)

13:30~15:30

講師：小林まゆ美さん

(小林手芸店)



参加費：1,300円 (材料費予定)

持ち物：裁縫道具、ものさしなど

締切り：10/9(水)まで

定員10名

押し花クラフト教室

日時：10月26日(土) 10:00~12:00

講師：更級ゆきえさん (ふしぎな花倶楽部)

参加費：500円 (材料費) 持ち物：はさみ

☆A4サイズで作品を作ります。

締切り：10/18(金)まで 定員15名



竹とうろう教室

竹にドリルで穴をあけ、ステキなとうろうを作ります。
子どもだけの参加はできません。

日時：11月2日(土) 10:00~12:00

講師：古沼雄二さん (有限会社光建工)

参加費：1,000円 (1組1本)

締切り：10/25(金)まで 先着10組



アレコレ長浦

⑤

～上堀田はこんなところ～

上堀田自治会長

曾我 悟

私たちの上堀田地域は駒林川の中流部に位置し、上流側は駒林地区(阿賀野市)に隣接しています。また、駒林川(上流に向かって右側)に沿って民家が立ち並ぶ細長い集落で水原町にもほど近く、水原方面へ買い物に出かける人も少なくありません。また、「大工」のほか「茶屋」「酢屋」「博労(バクウ)」「ザル屋」「箆屋」「すと屋」「桶屋」「鍛冶屋」など今も屋号として存在することから、昔はそれらを生業にしていた職人も多くいたようです。ちなみに「すと」とは、馬車を引く馬の背当てのことで、その上に鞍を付けていたそうです。それと博労(馬喰)は牛馬の売買や斡旋を生業にしている人だとか・・・これといった特徴のなかった当集落でしたが、令和元年に「地域おこしをやるう」と若者たちが立ち上がり、昭和46年から途絶えていた「神楽」を約40年ぶりに復活させ地域の交流を図ると共に活性化にも貢献してもらっています。しかし、少子高齢化の波は加速していて小学生も4人と少なく、空き家も目立つようになってきました。おまけに働き方改革のおかげで自治会役員の就任年齢まで高齢化、敬老会に敬老会主催者が招待されるという奇妙な現象も・・・これも時代の流れでしょうか。尚、上堀田の成り立ちを記した「上堀田ものがたり」という歴史書があります。興味のある方は、長浦コミセンまで問い合わせください。

【次は、里飯野自治会長 高橋重雄さんへバトンをお渡しします。】



上堀田ものがたり

